

令和3年が始まりました。

新年あけましておめでとうございます。昨日は成人の日でした。総務省の統計では、2021年(令和3年)1月1日現在の新成人の人口は、前年比2万人増の124万人だそうです。コロナ禍の影響で成人式が延期になったり、中止になった地域がありました。また、地区別などで分散して開催した地域やドライブイン開催など、感染防止対策を万全にして工夫して実施した地域もありました。楽しみにしていた西区の成人式も延期となりました。



《玄関掲示は新年バージョンです。》

さらにここ数日は数年に一度という大寒波の影響で、各地で雪などの被害が続出しています。体調管理を万全にしたいスタートを切っていきたいと思います。

学校長の話より

コロナ禍の中で学校として無事に3学期を迎えることができとても喜ばしいことです。コロナウイルスの影響は拡大の一途で大変な状況ですが、日々の感染症対策をしっかりと積み上げていきましょう。

さて、本年の目標はもう立てましたか？ 最初が肝心です。「一年の計は元旦にあり」といわれていますが、それぞれの明確な目標へ向かっての日々の生活であってほしいです。特に3年生は進路へ向けていよいよ勝負の時です。とりあえず3月末までの目標は進路決定ですね。頑張りましょう。

勝負といえば、このお正月で印象に残ったことの一つに大学生の「箱根駅伝」があります。毎年恒例となりましたが、東京(大手町)～ 神奈川(箱根町)間を1月2日(往路)と3日(復路)にわたって行われる駅伝です。前年度にシード権を獲得したチームに予選から勝ち上がってきたチームを合わせて21チームが10区間でタスキをつないでいきます。今年も様々なドラマが生まれ、裏話と合わせて感動の連続でした。



まずは、見事な逆転総合優勝を果たした駒澤大学。アンカーにタスキが渡った時点で首位とのタイム差は3分以上ありました。その差は誰もが「逆転は無理」と思うものでしたが、ラスト3kmで追い抜いたのでした。また、出場4回目にして往路優勝、総合第2位となった創価大学。



10区残り3km地点までの首位キープは奇跡的なものといわれています。そして、青山学院大学。昨年度の王者なので誰もが注目していたチームでしたが、往路は12位と大番狂わせでした。しかし、復路では見事優勝し、総合第4位入って強豪の意地をみせたのです……等々。

特に私は創価大学の走りに注目しました。当初はあまり話題に上らなかったチームでした。上位10人の1万mの平均タイムは出場21チーム中で13位。昨年全日本大学駅伝では、上位8人のタイムによる書類選考で落選しています。その悔しさをバネに「目標は箱根一本」と団結したことが、大躍進の一因となったとのこと。監督は「あらゆる条件の中で100%自分たちの力を発揮するということを、練習の中でも取り組んできた結果」と振り返っています。

また、同チームには「網膜色素変性症」という難病を抱えて頑張っているメンバーが2人もいます。昼間の光はまぶしく感じられ、夜には辺りが見えづらくなるというこの病気には確たる治療方法がありません。「自分が走ることで目に障がいをもった人の希望になればと、いつも思いながら走っています。」との彼らのコメントは素晴らしい限りです。

いずれにしても、明確な目標と、それに向けた地道で堅実な練習(努力)が今回の快挙につながったことは間違いありません。私たちも、それぞれの目標に向かって悔いのない本年にできるように頑張っていきましょう。

学校元気UP放課後学習会

1月の元気UP勉強会は、次の通りです。

○ 1/13(水) 14(木) 20(水) 27(水) 28(木)

○ 3:30～5:00まで

図書室もしくはその他の教室(学習する教材は各自持参のこと。)



校舎の改修工事が進んでいます。

昨年12月より始まった校舎改修が進んでいます。外側に足

場も組まれて本格的になってきました。内部のはつり作業が終わり、いよいよ内装を造っていく作業に入っています。きれいに出来上がるのが楽しみです。



《足場ができました。》



《調理室兼被服室になります。》



《プールの塗装工事》